

き た は ら

喜多原だより

NO. 87

令和7年9月吉日発行

後援会副会長挨拶

後援会会員の皆様をはじめとする関係者の皆様には、入園者の一番の応援団として格別なご理解とご協力賜り、心より感謝申し上げます。

後援会発足当初より、祖父、父から受け継いで 60 年、微力ながら関わってまいりました。私自身も 40 年余り沢山の児童生徒の生き生きとした活動を見て参りました。その活動を支えてくださっている寝食を共に子どもたちを支えていただいている職員の皆様、福生中学校いずみ分校、福生東小学校分教室の先生方には頭が下がる思いです。ありがとうございます。



副会長 上森英史

令和7年度年当初、社会に出ていく準備として自立し、社会と調和できるよう、それぞれ子どもたちが自分なりの目標をもってスタートしました。年度も半年が過ぎ、行事をこなすごとに学園生活にも慣れ少しずつ成長しているころだと思います。

9月13日から東京で始まった世界陸上女子マラソンで、猛暑で有力候補のアフリカ勢が途中棄権する中、無名の小林香菜選手が最後まであきらめず走り続け日本人トップ、日本勢として3大会ぶり7位入賞を果たしました。ゴール後、倒れた小林選手に手を差し伸べ、肩を貸したアメリカの選手のスポーツマンシップに、観るものすべての人に感動を与えたのは記憶に新しいところです。

10月31日には、鳥取県が開催県となり伯耆町総合スポーツ公園で行われる中国地区児童駅伝・マラソン大会が開催されます。子どもたちは大会に向けて共に励まし合いながら苦しい練習にも負けず打ち込んでいると聞きます。子どもたちの成長する姿を観る絶好の機会です。ぜひ応援に駆けつけていただけたらと思います。また、秋の園遊会では、成長した子どもたちと直接触れ合うこともできます。子どもたちがそれぞれの役割を果たしながら私たちを歓迎してくれる生き生きとした姿を見るたびに、更に成長して社会人として旅立って行ってくれと思うのは、皆様も思うところではないでしょうか。

保護者の皆様には、子どもたちが大きく成長できるよう、職員、先生方と手を携え支えていただきたいと思います。後援会といたしましても、関係者の皆様と連携をして、「地域、国の宝物」子どもたちのために引き続き支援してまいりたいと思います。引き続きご協力よろしくお願いします。

男子寮

野球大会感想

7月9日から11日までの3日間、やまぐち富士商ドームにて開催された「第70回中国少年野球大会」に出場しました。男子児童8名が出場し、奮闘しました。結果的に全国大会へ駒を進めることはできませんでしたが、総当たり戦の中、接戦の末引き分けに終わる試合もありました。

暑い日々が続く中、練習に取り組み、試合当日も互いに応援しあいながら奮闘した結果だと思います。

たくさんの応援ありがとうございました。

男子寮職員（監督）上紙啓

練習したことを出し切れるように頑張りました。

男子児童 H.Y



男子寮の夏休み



特に今年は暑すぎる！ということで、夏休み日課の調整をしました。例年一日に3回プールに入っていたところを、今年は2回にしたり、暑さが厳しい昼間は屋外活動を自粛したり…

夏休みの行事では川遊びや海水浴、そしてお盆にはお楽しみ企画（寮縁日、ご飯・スイーツ作り、個別外出）など、一人一人が楽しめる企画を盛り込みました。また、夏休み期間中に、遠目から打ち上げ花火を観たり、手持ち花火をしたりと、しっかり夏を満喫した男子児童たちでした。

男子寮職員 中島萌々子



女子寮

バレー大会意気込み



私たちのチームは現在4名で活動しています。私自身ずっとバレーボールをやってきましたが、学園でするのは初めての経験です。初心者の子が多い中、一緒に練習メニューを考えながら活動してきました。時には子どもたち同士で話し合いをしながら、声を出し一生懸命ボールを追いかけています。みんなの成長に日々驚くばかりです。中国女子児童バレーボール大会では、児童職員一丸となって力いっぱい頑張ります。

女子寮職員（監督） 森明花

チームとしては協力してボールをつなげることを頑張りたい。個人の目標は、声を出すこと、緊張をほぐすことを頑張りたい。

女子児童 K.U

女子寮の夏休み

女子寮行事では、海やプール、パフェ作り、バイキングを行いました。子どもたちは書記やポスター作り、予約の電話などにも挑戦し、責任を持って取り組む姿勢に大きな成長が感じられました。子どもたちも楽しんで寮行事に参加しています。

パフェ作りでは職員や分校教員にもふるまい、自分の頑張りを共有する温かい交流の場となりました。

また、9月に予定しているデイキャンプは、子どもたちと一緒に考えた題名「自然と同化私たち～夏の思い出dayキャンプ～」というユーモア溢れる題名に決まり、子どもたちも楽しみにしています。これからも寮行事ではしっかりと目的を持ちながら経験できる機会になればと思っています。

女子寮職員 谷本 英美



学園行事

こたか保育園交流

今年度もさつま芋の苗植え、芋ほり、交流会の3回を保育園と連携しながら交流を深めています。苗植えの際にはお互い緊張から距離感をつかめない児童と園児。それでも歩み寄ろうとする優しさを感じられる1回目となりました。

苗植えから時間を経て、楽しい芋ほりが近づいてきました。芋の出来高や収穫だけでなく、久しぶりの園児との再会も合わせて少しの不安と多くの期待が寄せられます。12月には保育園にお邪魔し、別れと感謝の意味を込めた最後の交流会をします。互いに出し物やレクリエーション、プレゼント等を用いて思いを伝える時間です。

それぞれの交流から児童が豊かな経験や感情を得るだけではなく、それを共有することを目的とした行事です。 男子寮職員 影山健太



乗馬センター交流



今年度も乗馬センターへ交流に行かせていただきました。まずは草をきれいにかけ集め、清掃作業を行いました。そして待ちに待った乗馬体験。2回目の児童が多くみんなスムーズに馬に乗り、立派に背筋を伸ばして乗馬していました。餌やり、ブラッシング体験では、怯えながらも職員の方に教わり、丁寧に触れ合っていました。

女子寮職員 森明花

米作り体験 田植え

例年お世話になっている地域の方々の協力を得て6月に田植えをさせていただきました。

裸足で田んぼに入ることに躊躇している児童がいましたがすぐに田んぼに入り、全員が横一列になってもち米を植え終わることができました。幸い去年のように全身泥だらけになる児童が現れず綺麗な姿で学園に戻ることができました。

男子寮職員 前田隆文



分校

修学旅行



今年の修学旅行は、5月14日(水)～16日(金)、2泊3日の日程で大阪・京都方面に出かけました。早朝6:30に米子自動車道の大山PAで結団式をし、その後大阪梅田行きの高速バスに乗り込むと(基本的にすべての移動を公共交通機関で行うのが、いずみ分校の修学旅行の特徴的なところですが)、3時間半ほどで大阪梅田バスターミナルに到着。その後すぐに、池田市にある「カップヌードルミュージアム」に向かいました。最初はチキンラーメンづくり体験だけの予定でしたが、スタッフの方の御厚意でカップヌードルづくりにも挑戦することができました。世界的にも知られたインスタント麺発明の歴史なども学ぶことができました。その日の夕方には難波にある「よしもと漫才劇場」で、若手芸人たちの漫才やコントを楽しみました。

2日目は京都エキスカッション。阪急京都線で向かったのは、スタート地点の嵐山。渡月橋を渡り、天龍寺を訪れた後は、2つの班に分かれての活動となりました。伏見稲荷、清水寺、錦市場をまわるチームと、京都動物園から京セラ美術館をまわったチーム。国内外からの観光客があふれるなかで、いずれも計画通りにいかず苦労したようですが、行った先々で日本の歴史や伝統文化に触れることができました。

そして3日目には、オープンする時間に間に合うようにUSJに行きました。楽しみにしていたアトラクションやショッピングを、限られた時間とお小遣いをうまく調整しながら、思う存分楽しみました。3日間をふりかえると、大都市の人混みやラッシュ時間帯の電車移動に苦労する場面も度々ありました。しかし、都会で生活することの大変さを肌で感じたことも、参加した4人の3年生にとっては、将来にもつながる貴重な体験となったと思います。いずみ分校ならではの充実した修学旅行でした。 いずみ分校 吉村教頭 山根教諭

着任職員挨拶

湯浅 和香先生

9月1日付で配属となりました湯浅和香です。8月末までは、倉吉児童相談所の一時保護所で勤務をしていました。趣味は、映画鑑賞や野球観戦、旅行です。毎年、家族で旅行に行き、メジャーな所から秘境にある温泉など色々な場所を巡っています！自分自身も初めての児童自立支援施設で、ドキドキですが、児童たちが楽しく安心して生活ができるように支援していきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

山根 幸子先生

今年6月から、保健支援員として勤務しております。病院や在宅医療での経験しかいたため、喜多原学園での日々はとても新鮮です。児童皆さんの頑張る姿に、私が勇気をもらっています。学園の皆さんが、心も身体も体調良く過ごせるよう努力していきます。よろしくお願いいたします。

武海 章先生

本年度8月1日より入職いたしました、武海と申します。学校関係の勤務は米子西高校にありましたので、二度目ということになります。とはいえ、当然様子は随分と違いますので、毎日新しい発見や気づきと驚きをもって勤務しているところです。微力ではございますが、粉骨砕身頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

学園関係

権利擁護について

児童福祉法改正等により、私たち児童自立支援施設の世界でも「こどもの権利擁護」が力強く推進されています。本園でも、令和4年度に定めた「喜多原学園31項目の権利擁護メニュー」の実現を目指し、生活の中にあるいろいろな制限やルールの見直し、こどもの意見表明の機会や主体的な参画の場の充実を図っているところです。制限やルールは、こどもたちの安心安全な生活の維持のためにどうしても必要な側面があるのですが、こどもの権利侵害になっていないか、その制限が必要不可欠なものか、緩和の余地はないか、という観点から、積極的に検討を重ねています。意見表明権の保障については特に留意をしています。意見箱の用紙や封筒を工夫し、こどもが意見や届けたい人や、してほしい対応方法を細かく選べるようにしました。また、児童相談所が社会的養護の場で暮らすこどもたちに対して、その権利が守られているかを確認するために行う「権利擁護面接」は、「養護施設等よりもこどもの権利制限を行っている場面が多い」という本園の持つ性格上、これまでは行われていませんでした。これについても本園が主体的に中身を検討し、導入しました。加えて「生活アンケート及び課長面接」を設け、本園としてこどもたちの意見や不満、困りごとを聞く正式な機会を定期的に設けました。こどもたちと大人たちに、こどもの持つ権利について伝えていくことも始めています。

こどもたちが喜多原学園で「自分の気持ち、意見を大切にされている」「自分は大切にされている」と感じながら暮らしていけるよう、今後も「こどもの権利擁護」に真摯に向き合っていきたいです。

指導課長 堀江健太郎

後援会関係

会員・会費募集案内

喜多原学園では随時、後援会の役員・会費を募集しています。みなさんのご支援が学園で暮らすこどもたちの支えになります。

【会費振込先】（口座名）鳥取県立喜多原学園後援会（口座記号）01440—2（口座番号）4066

※一口1,000から募集しています。趣旨にご賛同いただける方はご協力よろしくお願いいたします。

令和7年度 年間行事計画

10月	バレー大会、脱穀、駅伝大会、乗馬交流	11月	園遊会
12月	サックス演奏会、クリスマス会、餅つき	1月	とんど、スキー・スノーボード体験
2月	スキー・スノーボード体験	3月	卒業を祝う会

児童在籍情報 ※R7年9月30日時点

小学生		中学生		計
男子	女子	男子	女子	
1名	0名	8名	4名	13名

編集発行

鳥取県立喜多原学園

鳥取県米子市泉706

TEL 0859-27-1101

FAX 0859-27-1611